

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【公表番号】特表2010-505818(P2010-505818A)

【公表日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-531012(P2009-531012)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/56	(2006.01)
A 6 1 K	33/10	(2006.01)
A 6 1 K	31/722	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/14	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/56
A 6 1 K	33/10
A 6 1 K	31/722
A 6 1 K	37/02
A 6 1 K	33/00
A 6 1 P	25/04
A 6 1 P	35/00
A 6 1 P	25/00
A 6 1 P	37/00
A 6 1 P	9/10
A 6 1 P	11/00
A 6 1 P	1/14
A 6 1 P	15/00
A 6 1 P	21/00
A 6 1 P	19/00
A 6 1 P	1/02
A 6 1 P	35/02
A 6 1 P	25/28
A 6 1 P	25/16

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 19/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月28日(2010.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルシウム代謝またはカルシウムシグナリングに関連した疾患を処置するための、キチンおよびポリペプチド(Pp)から本質的になる有機物質(Om)と微細混合された炭酸カルシウム(CaCO₃)を含む医薬製剤であって、前記Omおよび前記CaCO₃は1/10から3/10までの比率で存在しており、前記Ppおよびキチンは1/100から1/10までの比率で存在してて、前記疾患は疼痛、増殖性疾患、神経障害、免疫障害、心臓血管疾患、肺疾患、栄養障害、生殖障害、筋骨格障害および歯科障害からなる群から選択される疾患医薬製剤。

【請求項2】

甲殻類の胃石または他の甲殻類骨格部に由来する、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項3】

CaCO₃、キチンおよびPpの人工混合物に由来する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

処置が症状の緩和を含む、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項5】

増殖性疾患が、肉腫、癌腫、リンパ腫および黒色腫から選択される、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項6】

癌腫が、乳癌または気管支原性肺癌である、請求項5に記載の医薬製剤。

【請求項7】

処置が、腫瘍内の細胞増殖の鈍化または阻害を含む、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項8】

疼痛が、術後痛、損傷後疼痛、癌関連の疼痛および神経障害性疼痛から選択される、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項9】

神経障害が、脱髓性疾患、認知症および運動障害から選択される、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項10】

疾患が、多発性硬化症、アルツハイマー病およびパーキンソン病から選択された変性疾患である、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項11】

疾患が、骨髄障害、骨折および骨粗鬆症からなる骨障害を含む、請求項1に記載の医薬製剤。

【請求項12】

請求項1に記載の医薬製剤を調製する、以下を含む方法：

i) 非晶質または微晶質のCaCO₃および有機物質(Om)を含有する物質を与えることであって、Om/CaCO₃の質量比が1/10と3/10との間にあり、前記OmはキチンおよびPpから本質的になり、Pp/キチンの質量比が1/100と1/10との間にある；ならびに

i i) 前記混合物の含水量を、100wpのCaCO₃あたり10から30wpまでに調整すること。

【請求項13】

以下を含む、請求項12に記載の方法：

i) CaCO₃、ならびにキチンおよびPpから本質的になるOmを含有する物質を与えることであって、Om/CaCO₃の質量比が1/10と3/10との間にあり、Pp/キチンの質量比が1/100と1/10との間にある；

i ii) 混合物中の含水量を100wpのCaCO₃あたり30wpまでに、任意に調整すること；

i iii) 混合物中の、CaCO₃以外の無機塩の含有量を100wpのCaCO₃あたり40wpまでに任意に調整すること；ならびに

i iv) 混合物をホモジナイズして、微細分散物を得ること。

【請求項14】

以下をさらに含む、請求項12に記載の方法：

i) ザリガニを選択し、胃石の形成を、モニタリングし、および任意に誘導すること；

i ii) 生じた胃石を採集すること；

i iii) 前記胃石を熱気中で乾燥して、保持されている水が、100部のCaCO₃あたり約20部だけにすること；ならびに

i iv) 前記乾燥した胃石を粉碎し、

CaCO₃および有機物質を含有する物質を与えること。

【請求項15】

以下を含む、請求項12に記載の方法：

i) 水酸化カルシウムを水中に分散させること；

i ii) 任意に、リン酸ナトリウムおよび/またはリン酸カリウムを混合すること；

i iii) キチンおよびポリペプチドを添加しながら、該分散物を二酸化炭素で飽和させること；

i iv) 懸濁液を遠心分離すること；

v) 上清の一部を廃棄すること；および

v i) 前記分散物のうち、沈殿物を含有する部分を乾燥し、保持されている水が、100部のCaCO₃あたり約20部だけにし、

非晶質または微晶質のCaCO₃を与えること。